

# 乳がん高度検診・治療センター NEW ーす NO.76

2020.9

## 健診センター・人間ドックで 「高濃度乳房」の通知と対策を始めました

### 「高濃度乳房」とは？

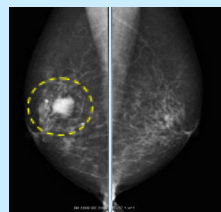
乳房は主に乳腺実質と脂肪組織から成り立っており、その割合には個人差があります。高濃度乳房とは乳腺実質の割合が多い乳房（50%以上）のことを言います。しかし、高濃度乳房は病気を意味するものではありません。

### 「高濃度乳房」の場合、マンモグラフィでは乳がんを見つけにくいのですか？

マンモグラフィ画像では乳腺実質は白く、脂肪組織は黒く写し出されます。そして乳がん（腫瘍）は白く写し出されます。

#### 脂肪性乳房

黒く写る脂肪の割合（90%以上）が多い。



#### 脂肪性乳房

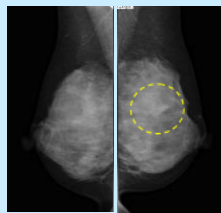
##### （マンモグラフィ）

乳房全体が黒いので白く写る乳がん（腫瘍）が発見しやすい

乳がん発見率：90%以上

#### 高濃度乳房（日本人の40%を占める）

白く写る乳腺の割合（50%以上）が多い。



#### 高濃度乳房

##### （マンモグラフィ）

乳房全体が白いので白く写る乳がん（腫瘍）が発見しにくい

乳がん発見率：33~69%

「高濃度乳房」の場合、市民検診では通知ができませんが、健診センター・人間ドックでは通知ができるようになりました

市民検診（対策型検診）… 地域住民や国民全体の乳がん死亡率を下げるのが目的です。

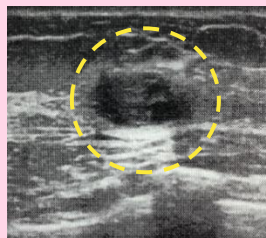
乳房構成〔①脂肪性、②乳腺散在、高濃度乳房（③不均一高濃度、④極めて高濃度）〕の受診者への通知は日本乳癌学会などの各学会で認められていません。その理由は、高濃度乳房であるか否かを通知しても、現状ではそれに対する有効な補助検査を提示できません。マンモグラフィ検診は早期がんのサインとなる石灰化を見つけることが得意なので、集団の死亡率を下げるすることができます。一方、高濃度乳房ではマンモグラフィで見落とす可能性の高い乳がん（腫瘍）を見つけることが得意なエコー検診の追加で、さらに集団の死亡率を下げるとの証明がされていません。

人間ドック（任意型検診）… 個人の死亡リスクを下げるのが目的です。

個人の死亡リスクを下げるために乳房構成を受診者に通知して、エコー等の補助検査を提案することが日本乳癌学会などの各学会で認められています。「高濃度乳房」の受診者に対して、腫瘍を見つけることが得意なエコー検診を行うことによって、乳がんの見落としを減少させることが可能です。なお、石灰化の検出が得意なマンモグラフィ検診に腫瘍の検出が得意なエコー検診を加えると、乳がんの見落としが減る利益がありますが、良性の腫瘍の見落としも減るため、要精密検査率が高くなるという不利益もあります。

当院における健診センター・人間ドックのマンモグラフィ検診では、その撮影時に乳腺濃度を解析ソフトで測定し、高濃度乳房の場合にはマンモ撮影技師がその旨をお伝えすることができるようになりました。そして、高濃度乳房の場合には、乳がんの見落としを減らすために、エコー検診（健診センター・人間ドック）の受診を追加することをお勧めします。

#### エコー検診の追加



#### 高濃度乳房

##### （エコー）

乳腺の量が多くても、乳がん（腫瘍）を鮮明に描出するので、乳がんの見落としが減る

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師  
矢竹 秀稔